

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北田宮校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		課題に応じて机の向きを変えるなどスペースが不足しないよう合理的に工夫しています。	法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	○			法令で必要とされている人員と2名追加で配置。職員全員専門職。（保育士2名、教諭3名）
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		机の向きや教具の配置を支援毎に組み替えています。	現段階ではバリアフリーではありませんが、希望があれば検討いたします。利用者様に伝わりやすいよう視覚的にアプローチできる工夫をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用入れ替え時に換気をしています。	毎朝隅々まで掃除をすることで清潔に保っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎朝職員ミーティングを開いて情報を共有しています。	現状を継続して実施します。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施し結果の共有および反省と改善点を職員間で話し合い実施しています。	現状の継続向上に加えて、潜在的な意向の把握に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公表しています。	よりわかりやすく把握しやすい内容について推敲していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は、利用者・社内の2者評価をとっています。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討しています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に積極的に参加するとともに校舎内、内部研修・ウェビナー研修に参加しています。	情報収集に努めスキルアップの機会を拡充します。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全国の「きらり」で共通し利用している「受付シート」を用いてアセスメントを行っています。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		相談支援事業所の計画とアセスメントも用い利用者様主体の具体的な支援内容で個別支援計画を作成しています。	児童発達支援ガイドラインに基づき具体的な支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画書に基づき支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用者様の現状を共有し議論するケース会議や他事業所からのアドバイスも頂ける体制を構築しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別に活動プログラムを組み立てています。	毎回異なる活動プログラムで支援しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		集団活動の場として月1回のイベント（きらりひろば）を活用しています。	小集団での関わりを楽しめる支援内容を提供しています。（地域のイベントや児童館での催しに積極的に参加させていただいています。）
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを実施し、職員間での情報共有を行っています。	必要に応じて内容を記録しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務終了後や朝のミーティングで良かった点、効果的であった点を積極的に発言し共有するようにしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		具体的かつ簡潔な記述で参照しやすくしています。	支援記録を継続します。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にもモニタリングを行うことに加え、希望があれば随時モニタリングを行い計画の見直しをしています。	懇談シートを用い、個別でお話しする機会を設け気になることを話していただける環境を作っています。
関係機関や保護者との連携関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当指導員と児発管が参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係諸機関との連絡が疎とならないように、定期的に連絡をとるようにしている。	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っています。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在は医療的なケアが必要な利用者はいません。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			現在は医療的なケアが必要な利用者はいません。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援は現在行っていません。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援は現在行っていません。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		開催される研修等に参加しています。利用者の希望によって連携しています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		保育園の行事を見学させていただきました。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		オープンキャンパス等に積極的に参加させていただいています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回お迎えに来ていただいた時にその日の様子や支援内容などを保護者様にフィードバックしています。	現状を継続して行うとともに子どもの発達の状況や課題について共通理解を深める。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		希望に応じて面談を行っています。	研修等を通じて面談を受けた際の支援プログラムの精度を高めていきます。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		変更があった時等迅速にご説明しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		アセスメントを元に長期目標と短期目標を設定し保護者様に説明をして同意を得ています。	児童発達支援ガイドラインに基づく児童発達支援計画の作成および説明を継続して行います。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		可能な限り随時応じるようにしています。	保護者様の了解を得て、必要に応じて他事業所の方の意見もいただいています。
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現状行ってはいません。	希望があれば父母の会の活動も視野にいれています。	
③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に上長への報告を行うとともに、利用者様や保護者様の相談内容を客観的に究明し不安を取り除くよう迅速適切に対応しています。	この対応を継続するとともに、より迅速かつ適切に対応できるよう能力向上を目指します。	
③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやホームページなどのツールを用いて事業所からの情報発信を行うとともに、アンケートを活用し要望の言いやすい環境を構築しています。	引き続き情報発信するとともに、情報発信の頻度や内容等を精査し利用者の方がより活用しやすいよう改善していきます。	
③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		記録への記載方法や、第三者がいる状態での職員間の会話にいたるまで個人情報の漏出	現状、個人情報管理は厳重に行っているため、管理意識が弛緩することのないよう職員間で注意を払っていきます。	

					がないよう十分配慮していま す。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしている	○		紙面、口頭の両面からお伝え しています。	現状を継続するとともにより よい意思疎通や情報伝達の方法 を模索していきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている		○	ブログを発信しきらりの活 動にご理解とご協力をいた だいています。	より開かれた事業運営の方法や 手段を検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると ともに、発生を想定した訓練を実施している	○		実際に対処する道具を使用 して実践的な訓練を実施し ています。	錬度維持のための自発的な訓練 の実施を検討していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っている	○		保護者様にも参加いただき 利用者様のご家族も含めた 防災訓練をしています。	月1回の訓練実施を継続すると ともに、より実践的な訓練内容 となるよう検討を重ねていきま す。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども の状況を確認している	○		保護者様から頂いた情報を 職員間での共有を徹底して います。	見落としのないよう利用の長い 利用者様についても定期的に情 報の確認を実施します。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に 基づく対応がされている	○		全ての子どもについてアレ ルギーの有無を確認し、校 舎内での該当物質との接触 が起こらないように留意し ています。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いる	○		気づいたことを取り上げて 共有しています。そうする ことで未然予防につなげて います。	研修等に参加し、未然予防の精 度をあげることができるように していきます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしている	○		マニュアルを策定し内部研 修の実施や外部研修への参 加を行っています。	研修等に参加し、虐待を防止す るための知識や手段を随時ア ップデートしていきます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に 説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載 している	○		契約時、更新時に保護者様 に具体的にどのような時に やむを得ず身体拘束を行う かお伝えして同意を得てい ます。	身体拘束が必要な場面にならな い工夫をしています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北田宮 校

保護者等数（児童数）：14 回収数：12 割合：86%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1				法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1				法令で必要とされている人員と2名追加で配置。職員全員専門職（保育士2名、教諭3名）
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	4				現段階ではバリアフリーではありませんが、利用者様にわかりやすいように視覚的に工夫をしております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1				毎朝隅々まで掃除をすることで清潔に保っています。利用者様入れ替え時に換気をしています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	1				放課後等デイサービス計画の作成はグループで行い客観的に分析しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12					児童発達支援ガイドラインに基づき具体的な支援内容を設定しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12					児童発達支援計画に沿って行っています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12					毎回個別に組み立てています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	2	1	2		地域の行事に参加させていただき交流を楽しんでいます。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					定期的にモニタリング等の聞き取りを行い、支援の内容とともに説明させていただいています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12					児童発達支援ガイドラインに基づき児童発達支援計画を作成しています。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	2		2	希望に応じて面談を行っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				毎回お迎えに来ていただいた時にその日の様子や支援内容などを保護者様にフィードバックしています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				定期的に懇談会を行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	1	6	父母の会の活動も希望に応じて対応させていただきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11			1	迅速に上長への報告を行うとともに、利用者様や保護者様の方の苦情の原因を客観的に究明し不安を取り除くよう迅速適切に対応しています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				紙面、口頭の両面からお伝えしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1		2	ブログやホームページなどのツールを用いて事業所からの情報発信を行うとともに、アンケートを活用し要望のしやすい環境を構築しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	1			記録への記載方法や、第三者がいる状態での職員間の会話にいたるまで個人情報の漏出がないよう十分配慮し、管理しています。
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12				マニュアルを策定し職員間で共有するとともに、折に触れて保護者様への周知を推進しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1		1	月1回の防災訓練等を実施し、保護者様も一緒に参加して頂いています。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12				体調不良の時など事業所を欠席する時、子どもの方から振替の希望を出してくれています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12				利用日追加の希望を多くいただくことから支援に満足いただいていると思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。